

Pure homes Voice

たくさんの“ありがとう”に
支えられて、今がある。



営業部LS課
課長
兼 ピュアテラス
川口青木館長
櫻 千秋さん



個性派で人情味溢れるムードメーカー

思い出の現場。あるご夫婦のお客様が、階段手すり工事を依頼してくださり、手すりの仕上がりが（且井喜工社様施工）に大変喜んでいただきました。その後、福祉用具レンタルや家の修繕、大きなリフォームの依頼を次々とただけて。ご主人がご逝去された後も奥様をサポートし、施設への転居時は家の売却（ピュアホームズ不動産課）、施設の変更の際には、住マイル相談室を利用（吉村担当）してもらい、ピュアホームズのファンになっていただけ、今となっては20年以上のお付き合いをさせていただいています。ピュアホームズに入社した当時、従業員はまだ20人程で福祉用具と工事部しかない時期でした。今、残っているメンバーでいうと嶋田社長 福山常務、水島施設長、CS課の瀬野さんになります。社長たちの「お客様を守る。お客様の“声”をカタチに。」という意識の強さから、新しい自社サービスが次々と生まれました。その勢いを保ち続ける社長に対し、常にリスペクトの念を抱いています。ピュアホームズの25周年という歴史、それはお客様からのたくさんの「ありがとう」をいただいた結果だと思っています。

仲間の理解がくれた貴重な時間

営業部LS課
主任
長野 友軌さん



営業部のエース。器用で真面目な主任

入社9年目になりました。
2人目の子どもが生まれるにあたり、社内初の育児休暇を取らせていただきました。
里帰り出産ではなかったため出産にあたり、上の子の面倒を自分が見ないと家が回らない状態だったので、育児休暇取得にご理解いただいた会社の皆様には感謝しかありませんでした。
予定日より2週間も早く生まれたので、急遽お休みに入らせていただくことになってしまいました。夫婦で協力し合い、1ヶ月の期間ですくすくと育っていく成長が感じられ、貴重な時間となりました。

風通しの良い部署で、ライフワークバランスについても相談しやすい環境です。

笑顔をつなぐ現場の力

会社が成長しても変わらない
個性的で人情味のある社風



営業部LS課
主任
大澤 美穂さん



2025年9月の沖縄社員旅行にて（左側：大澤さん）
（右側：営業部LS課 阿部さん）

入社20年、川口だけでなく、板橋営業所、東京支店など目まぐるしく部署が変わりましたが、その都度、まわりに話せる人がいてくれたので、ここまで続けてこられました。今となっては400人体制の会社にまで成長しましたが、入社時は20人くらいのとてもアットホームな会社でした。会社の雰囲気は当然、変わりました。
人は移り変わっても、ピュアは一人ひとり、とても人情味のある方ばかり。個性が強すぎる部分もあり、この会社に合う合わない、はあると思います（笑）。

社長は、とても親しみやすくて思いやりのある方だと感じています。
イベントでは、一社員と同じように焼きそば作ったり、草むしりしたり、率先して動かれます。
しかし、社長のアイデアの発想は次から次へと沸き上がり、テンポ速く事業展開されてきたのは、本当に凄いことだと思っています。

Pure homes Voice

“ありがとう”が くれた力



有望で寡黙なイケメンエースが3Dフィギュア化！

営業部CS課
主任
馬場 響さん

入社5年目になりました。介護リフォームに携わってきましたが比較的、工事期間の長い現場に関わらせていただけてきました。お客様と時間を共にする中で関係性が深まり、ご家族とのコミュニケーションも増えます。あるお客様のお孫さんが自分を気に入ってくれて、ピュアのイベントに遊びに来てくれた時、WSに参加して、手作りストラップを自分にプレゼントしてくれたんです。(写真：左上)子どもらしい可愛い字で“ありがとう”のメッセージ入り。入社2年目だったかな、それがとても嬉しくて、今でも車に飾って励みにしています。

これからの後輩に望むこと。
それは探究心、強い意欲、です。
同じような仕事が続くとマンネリになってしまいがちですが、その中で何ができるか。お客様が求めていること以上のものを、おせっかいになりすぎない程度で探り出す。自分はそのことを楽しみに取り組んでいます。

可能性を引き出し 育ててくれる環境



住マイル相談室
係長
志村 育子さん



誠実な姿勢で寄り添いお客様から厚い信頼を寄せられています

出産、育児のタイミングで仕事をいろいろ変えてきました。しかし、どれも中途半端で終わってしまった気がしていて、ダメだな、と思ってきたんです。でもピュアホームズに入って、これまで点だった知識と経験を生かせる場面をいただき、点が線になり、成果をあげられる瞬間は、やってきてよかった、と実感します。ピュアの仕事は、私の可能性を引き出してくれて本当に恵まれていると感じています。成長させてくれる会社、社長、まわりのスタッフに感謝し、天職と信じ、引き続き頑張ります。

女性は、結婚、出産育児、とライフサイクルからキャリアを築きにくい部分があると思います。しかし、有能な女性はたくさんいる。女性として、多様な働き方を選択でき、キャリアを途絶えさせず個々の能力を会社のために生かせる会社の体制作りをしていきたい、と思っています。
チームワークでお互いをサポートし合い、この会社だから働ける、と思ってもらえるような仕組みを作りたいです。

支え合う仲間の姿がお客様の笑顔を照らす

自分らしく いられる会社です



お孫さんが作ってくれた3Dフィギュア

介護界のカリスマ
ついに手のひらサイズに！
介護事業本部
部長
相川 ゆかりさん

これまでの歩みを振り返り、今回、どうしても活字に残しておきたい想いがあります。これまで数えきれない程の大変なことがありました。たくさんの方の困難を乗り越え、この道のりを歩んでこられたのは、まさに辛いことも嬉しいことも共に分かち合ってきた真の仲間がいたからこそ、なんです。この場を借りて改めて感謝します。

私が子供の頃から、心のお守りとして大事にしている言葉があります。それは“十人十色”。皆が同じじゃなくいい、価値観の押しつけは好きじゃない、お互いを尊重し合う。その信念を大切に、しかし、仕事に関しては、仲間が一致団結して、同じ想いで進んでほしい、とこれからの人達に願います。

長く会社にいるので、社長と一番ぶつかってきた人間だと思います。切磋琢磨していた創業当時は、社長にしつこく疑問をぶつけて、社長からしたら、私は目の上のたんこぶだったはず(笑)でも、私に介護部門を全面的に任せてくれたことに心から感謝してるんです。

Pure homes Voice

想いを言葉にすれば、
必ず動いてくれる会社



びゅありは紅葉庵
施設長
平川 双葉さん



ずば抜けたコミュ力で責任感と情熱が職場を動かす

ピュアに入社して、まだ日が浅く、年歴的にもまだ若く未熟なのですが、管理者にさせていただいたことに恥じぬよう、頑張ろう！と思っています。

自分は遠慮なしに、施設の改善したい点など社長に率直にお伝えしてしまうのですが、その打診がいい方向に向かうと判断していただけたら、すぐに要望に応じて行動してくれる会社だと思っています。そのスピード感到に救われ、仕事がやりやすく助かっています。

介護業界に入り、まだ 7 年。業界に染まっていない発想も出てくると思っています、柔軟に対応してくれる会社に入れてよかったな、と思っています。

びゅありは紅葉庵を、もっと多くの方に利用していただきたい。そのために、まずは職員が楽しく働ける職場を築いていきたい、と思っています。利用者さんやご家族から " ありがとう " の生のお声がダイレクトに届く仕事であり、やりがいを感じます。

経験を生かし、介護事業部を
引っ張っていく立場になりたい

ピュアライフ
川口芝公園
施設長
橋本 佳季さん



多彩な業務をこなす、チームの頼れる存在

新卒採用プロジェクトが始まった時、入社しましたが、ピュアの中で一番、異動が多いかもしれませんが、あとは全て介護部門で、ここまでできました。施設長になってから、社長と直に相談する機会も増えました。

常に社会の動きを察知しながら会社の方向性を示してきたストイックな社長は、本当に凄い。ピュアの魅力は、多角的な事業展開をしているので、お客様を受け入れられる、たくさんの窓口があるところ。

様々なご提案ができるのが強みです。介護事業では、いろいろな部署に関わらせてもらってきたので、これからはその経験を生かし、介護事業部を引っ張っていく立場になりたいです。

統括、という新しい役職をいただきました。結果、出します！

ピュアを盛り上げ、頑張ります！！

誰かを支える、ひとりひとりの物語

PYC Voice

利用者さんの成長を感じられる時
やりがいを感じます



ピュアハーモニー
サービス管理責任者
吉田 夏美さん

まっすぐな優しさと情熱がにじむ吉田さん

中学生くらいから、メンタルの分野で働きたいと思い、福祉系の大学に進学し、最初は精神科病院に就職しました。

病院のデイケアで働いていましたが、利用者さんの " 働きたい " という声がとても多かったんです。そのような方達をサポートできたら、という思いが高まり、ピュアの就労支援に転職しました。

この仕事のやりがいは、利用者さんの成長を感じられた時です。作業が早くなったり、消極的だった方が積極的になったり。これからも、利用者さんの目標に向け、最後までお手伝いしていきたいです。

ピュアは会議が多いのですが、管理職の皆様を身近に感じられ、相談しやすい環境で、とても助かっています。

休日は、映画鑑賞、読書、お酒を飲んだりしてリフレッシュしています。

オススメ映画は " キングスマン " や、仕事の原点に立ち返らせてくれる " 僕と頭の中の落書きたち " " ビューティフルマインド " です。

PFP Voice

どんな時も、心に“ピュア”を

リストラテ谷澤
店長
谷澤 卓さん



こだわりの一皿一皿に、感謝とぬくもりを込めて

これまでを振り返り、印象に残っている出来事はいくつか思い出されますが、近々だと、コロナ禍が大きな節目として刻まれています。当時、お客様は1日数人。お越しいただいても衝立のあるテーブルで黙食。お店を辞めるか、いかに生き残るか。試行錯誤しながら、なんとか生き延びる策を必死に考え、落ち込んでいる暇はありませんでした。

社長と最初に出会った時、聞かせていただいた社長のスピリット、これが今でも自分の中に根づいていて、この会社に居続けています。

ピュアがデイサービスを始めて利用者さんの外食ツアーを始めた時のこと、高齢者が入店を断られる現実。それが見るに耐えなかった社長。ならば、自分が高齢者の方々に気持ちよく喜んでいただける飲食事業を始めようと旗をあげた。

自分の生まれ育った街を作り上げてきてくれたのは、先人の高齢者の方々なわけで、その方達がないがしろにされる世の中であってはならない、と。その言葉が強烈に響きました。社長のその精神を受け継ぎ、忘れず、これからも食を通して、皆様に楽しく喜んでいただける場所を提供していきたいです。

しんあいVoice

支援に対するご家族の喜びの声
それが自身の喜びであり、
モチベーション

訪問看護ステーション
しんあい
管理者
長谷川 敦子さん



笑顔で寄り添いながらお話する長谷川さん

訪問看護ステーションしんあいに入職して30年になります。25年間、訪問看護に行っていた利用者さんがいらっしやったのですが、ご家族の協力は必須なんです。しかし、365日24時間のサポートに家族も疲弊してしまうことがあります。

そのお家に入れていただき長く関わることで、利用者さんのみならず、ご家族にもアプローチできご家族も支え、ご家族皆さんと相談し協力しながら、長い時間を共に生きる。その途中では、ご家族が結婚したりお孫さんが生まれたり、成長していく過程を垣間見させていただいたり。

長いお付き合いの中から、支援に対し、ご家族皆さんから喜んでいただけることが、自身の大きな喜びになり、それが続けてこられた理由だと思います。

しんあいを立ち上げた鈴木元所長は、利用者さんにはもちろんのこと、私たち従業員にも、とても温かい人です。私は、子育て時代も経験してきましたが、家族を大事にしながら仕事しなさい、と声をかけてくださり、そのマインドに支えられたからこそ続けてこられました。これからもお一人お一人に向き合いながら、丁寧な訪問看護を大切にしながら、時代の流れにも対応したサスティナブルなサービスを提供していきたいと思っています。

One Heart, One Team

ひびきVoice

公私ともに支え合い頼りになり、
わかりあえる仲間達

NPO法人 ひびき
管理者
早川 由美子さん



『ひびき』の入口で笑顔でお迎えする早川さん

加藤前所長から引き継ぎ、今年の4月から管理者になりました。

ひびきはアットホームで、皆、子育てしながら切磋琢磨してきたので、公私ともに支え合い頼りになり、わかりあえる仲間達です。

2022年にピュアにグループ化されてから“益々良い方向に向かっている”と感じています。

電子カルテを導入してもらい仕事しやすくなり、採用面、経営面でもサポートしていただいております、安心して業務に取り組んでいます。

ひびきの名の由来
ダブルジングル = 共鳴関係がケアの基本である、を胸に加藤前所長が築き上げてきた信用と信頼を裏切らないように、皆で知恵を出し合い、頑張っていきたいです。